

第 6 回匿名データ作成方法ワーキンググループ

貸金構造基本統計調査の  
匿名データ作成の検討について (案)

# 地域及び事業所情報について

---

## ●地域

- 東京圏、名古屋圏、大阪圏及びそれ以外の地域の4区分で度数表等を検討
  - ・名古屋圏の度数が少ない → 特定のリスクが高い
    - ✓ 2区分（3大都市圏、それ以外の地域）
    - ✓ 地域区分なし（全国）

## ●事業所情報

- 産業分類 → 大分類を基本とする
  - ・度数の少ない分類の取り扱い
    - ✓ C 鉱業、採石業、砂利採取業 → 削除対象
    - ✓ F 電気・ガス・熱供給・水道業
    - ✓ G 情報通信業
    - ✓ Q 複合サービス事業
- 企業規模
  - ・グルーピングは必須 → 大・中・小企業の3区分を基本とする
- 特定のリスクがあるため、提供しない
  - ・事業所規模
  - ・公営事業所（民営のみを提供）

# 個人の情報について

---

## ●匿名化処理を行い提供する項目

### ➤年齢

- ・ グルーピング（5歳階級等）を行うか

### ➤数量（実労働時間数関係、勤続年数）

### ➤金額（給与額関係）

- ・ トップコーディング及びボトムコーディング以外については、記入のまま提供

## ●取り扱いを検討する項目

### ➤超過労働給与額 → 提供する方向で検討

### ➤昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額 → 提供する方向で検討

### ➤職種 → グルーピングを検討

### ➤初任給

- ・ 令和2年調査より廃止されたが、新規学卒者及び勤続年数で再現できる可能性
- ・ 特定のリスクの有無

### ➤在留資格 → 度数表を確認

### ➤職種番号 → 度数表を確認

# 今後について

---

- WGの議題に追加

- データの特性について（対象とする者、分析）→ 検討終了までに確定
- 外部情報の取り扱い

- 次回の作成方法WG（第7回）

- 日時

- 1月下旬を予定

- 議題

- 外部情報
  - ✓どのデータをどのように利用するか
- 各項目に適用する匿名化の方法
  - ✓度数表、クロス表等の状況により匿名化方法を検討

※状況に応じて、度数表等の再作成を行い、再検討を行う